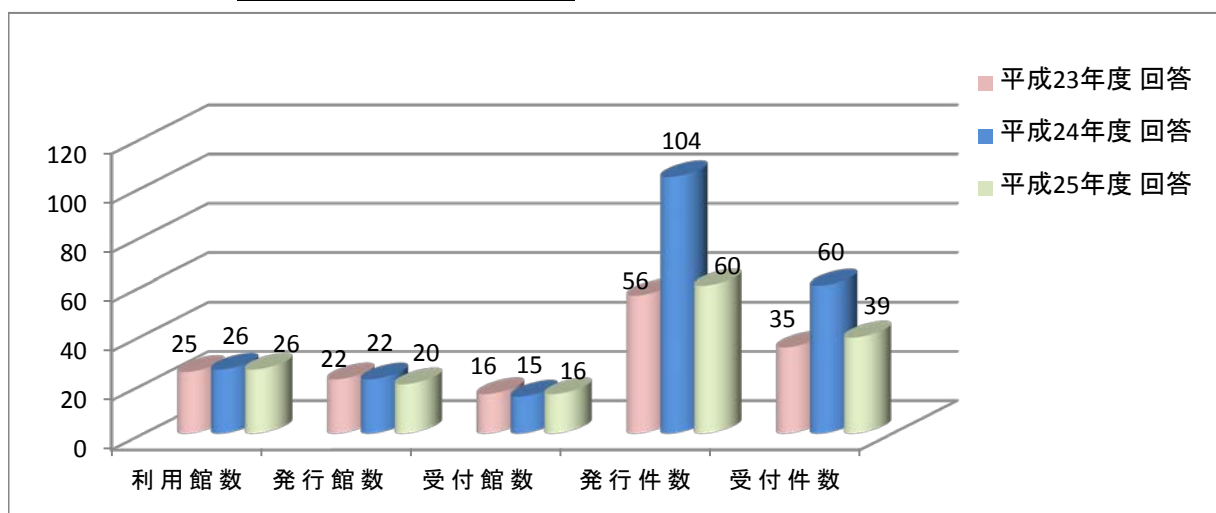


平成25年度 SALA共通閲覧証利用調査結果報告

1. 調査期間：平成26年4月1日～平成26年4月25日
2. 調査対象：加盟館47館
3. 調査対象期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日
4. 調査項目：発行件数、受付件数、ご意見
5. 定義：発行件数…他の加盟館を紹介する時に共通閲覧証を渡した件数
受付件数…他の加盟館から共通閲覧証を持参して来館した件数
6. 調査方法：①SALAメーリングリストで文書配布 →②個別にメール、電話で問い合わせ
7. 回収方法：①メール添付又はFAX受信
8. 調査集約担当：文教大学越谷図書館
9. 調査結果：

〈集計表〉

	平成25年度		平成24年度		平成23年度	
	回答	割合	回答	割合	回答	割合
回答館数	46	97.9%	47	100.0%	49	100.0%
利用館数	26	55.3%	26	55.3%	25	51.0%
発行館数	20	42.6%	22	46.8%	22	44.9%
受付館数	16	34.0%	15	31.9%	16	32.7%
発行件数	60		104		56	
受付件数	39		60		35	



〈ご意見〉

共通閲覧証を利用する場合、利用者が訪問利用後に共通閲覧証を所属図書館に返却する必要があるため、再度図書館に立ち寄る必要が生じます。また、参考調査係(レファレンス等)においても、カードの管理を必要とするため、利用後に追跡する必要があります。

これに対して紹介状を発行する通常の訪問利用の場合は、利用者は、訪問利用後図書館に出向く必要はありませんので、どちらかと言うと、通常の訪問利用の方が利用者にとっては都合がよいように感じます。

訪問利用件数自体が減っておりますので大差はないと思われませんが、紹介状発行と言う手間を省くということでは有効だと思いますので、共通閲覧証をこれからも利用するのであれば、訪問時1回限りの利用カード(訪問日付を押印するなど)として発行することは考えられないでしょうか？

当館では、共通閲覧証の利用促進(拡大)のために、司書課程の授業セミナーなどで共通閲覧証のPRをしています。そこでSALAとしても利用促進のためのチラシやポスターの類があると案内もしやすくなると思いますが、いかがでしょうか。

SALA加盟機関の図書館をお互いに利用できる便利なシステムだと思います。共通閲覧証について知らない学生も多いので、積極的に案内していくつもりです。本年度からは新入生向けオリエンテーションでも紹介しています。

いちいち紹介状を発行しなくて良いところは、とても便利なのですが、地域性でしょうか、利用がなかったのが残念です。

開館して3年目で初めて共通閲覧証の利用がありました。当館は蔵書が少ないためこのような制度はたいへん助かります。数は少ないと思いますが、今後も活用させていただきたいと思います。

共通閲覧証は大変便利だと思います。今後、利用者への周知を徹底し、さらに活用されるよう努めます。

共通閲覧証を持参した件数は5件でしたが、持参しない加盟館利用者は23件ありました。共通閲覧証を持ってこない利用者には、共通閲覧証について説明をするようにしておりますが、昨年度も同様な内容でした。報告いたします。

今後も共通閲覧証制度を維持していただければと思っております。宜しくお願いいたします。

当館は一般公開しているので、利用申請書の記入と身分証明書の提示により利用することが出来ます。受付件数は申請時に共通閲覧証を提示された件数のみを記入いたしました。